

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

「膵腺癌超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）による細胞診および組織診の 関連：腫瘍径小径および大径グループに分けての比較検討」の研究

1. 研究の対象

2013年1月1日から2022年9月6日までの間に、当院の消化器内科で膵がん疑いにて超音波内視鏡下穿刺吸引法を受けられた方のうち、最終病理診断が外科切除材料、胆管生検等(EUS-FNA以外)で“膵腺がん、悪性”と裏付けの取れた症例。

2. 研究目的・方法

目的

下記の試料・診療情報等を利用し細胞診および組織診の膵がん診断能について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において膵がん疑いにて超音波内視鏡下穿刺吸引法を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにデータを集積し、膵がんの病理学的診断能の向上に寄与する因子の検討を行います。

方法

この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目3に記載する検体等を使用させていただきますが、氏名、病理検体番号などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：腭腫瘍生検組織
- ・ 診療情報等：臨床および病理診断(細胞診、組織診)名、年齢、性別、腫瘍径、腫瘍部位、採取部位(腭頭部／体部・尾部)等

4. 情報の提供先・提供方法

当院のみの研究であり、他施設との情報の授受はありません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院 (電話：代表 042-639-1111 内線：4191)

研究責任者 病理診断科 田尻 琢磨

問い合わせ担当者 病理診断科 杉山 朋子

.....以上